事例No.	2018
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	静岡県西伊豆町

事例区分	DX

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT ・少子化・人口減少

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

地域電子通貨（サンセットコイン）活用

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

38 地域電子通貨（サンセットコイン）活用【静岡県西伊豆町】

事業の概要

○ 地域通貨プラットフォームの「chiica（チーカ）」を導入し、町独自の電子地域通貨の「サンセットコイン」を運営している。
ポイントの単位は「夕陽の町日本一宣言」にちなんで、（１円＝１ユーヒ）とした。

○ 令和２年度の運用開始時に、サンセットコインのカードに10,000ユーヒを付与し、町民全員に配布した。その後はマイナポイント事業への参画や、遊漁船で釣った魚を産地直売所でポイントとして買い取るなど、多くの事業を展開している。

西伊豆町独自の地域電子通貨
「サンセットコイン」→



【参考情報①】 人口：0.8万人
関連URL：
https://www.town.nishiizu.shizuoka.jp/kakuka/kankou/syoukou/sun

【参考情報②】地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



少子高齢化や人口減少、インターネット販売の増加、さらには新型コロナウイルス感染症拡大の影響を打破するため、町内の消費循環を促す必要があり、町内でのみ利用できる電子地域通貨に着眼しました。

（西伊豆町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和２年度の導入にあたり、２人に１人が高齢者である当町で皆さんにご利用いただくため、導入当初に10,000円分のポイントを付与したカードを配りました。この財源に内閣府の地方創生臨時交付金を活用しました。



これからの事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



電子地域通貨は、地域内の消費を地域内で囲い込むことができるため、当町のような消費先が町外の過疎地域である程、消費循環の効果が高いです。
また、還元事業などでは少額の支出でより大きな消費を短期間で生むことができます。

★担当：西伊豆町まちづくり課★

令和3年度事業費　52,500千円